



ファームウェアバージョン :	R3.00.B548	
ハードウェアバージョン :	DGS-3120-24TC	B1
	DGS-3120-48TC	
	DGS-3120-24PC	
	DGS-3120-48PC	
	DGS-3120-24SC	
	DGS-3120-24SC-DC	
発行日 :	2014/10/15	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード手順 :	2
CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード	2
Web-UI を使用するアップグレード	6
追加機能 :	9
MIB および D-View モジュールの変更点 :	9
コマンドラインインタフェースの変更点 :	9
修正した問題点 :	9
既知の問題 :	10

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R3.00.B548	2014/10/15	DGS-3120-24TC	B1
		DGS-3120-48TC	
		DGS-3120-24PC	
		DGS-3120-48PC	
		DGS-3120-24SC	
		DGS-3120-24SC-DC	

アップグレード手順：

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)](#)、もしくは [Web-UI](#) を使用してファームウェアのアップグレードを行うことができます。

CLI（シリアルポート）を使用するアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート（コンソールポート）で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**

2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RJ-45 シリアルケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。

※初期状態では管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていません。
何も入力せずに「enter」キーを 2 回押し、ログインします。

4. ログイン後、下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download [firmware_fromTFTP <ipaddr> <ipv6addr>] src_file <path_filename 64> {unit<unit_id> all} dest_file <pathname>	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image {unit<unit_id>} <pathname> boot_up	Boot up イメージファイルの変更をします。
Dir {{unit<unit_id>} <drive_id>} {<pathname>}	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。
show switch	スイッチの情報を表示します。

※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例：

1.ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-3120-24SC:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DGS3120BX_Run_3_00_B548.had
dest_file DGS3120BX_Run_3_00_B548.had
```

```
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DGS3120BX_Run_3_00_B548.had dest_file
DGS3120BX_Run_3_00_B548.had
```

```
Connecting to server..... Done.
```

```
Download firmware..... Done. Do not power off!
```

```
Please wait, programming flash..... Done.
```

2.ダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に使用するファイルとして設定します。

```
DGS-3120-24SC:admin#config firmware image DGS3120BX_Run_3_00_B548.had boot_up
```

```
Command: config firmware image DGS3120BX_Run_3_00_B548.had boot_up
```

```
Success.
```

3. ダウンロードし、ブートアップ時に起動するファイルとして設定が正常にされているか確認します。

DGS-3120-24SC:admin#dir

Command: dir

Directory of /c:

Idx	Info	Attr	Size	Update Time	Name
1	RUN(*)	-rw-	7876960	2013/12/29 04:12:54	DGS3120BX_Run_3_00_B548.had
2	RUN(b)	-rw-	7877408	2013/12/29 04:09:01	DGS3120BX_Run_3_00_B533.had
3	RUN	-rw-	7875520	2013/01/21 01:31:24	runtime.had
4	CFG(*)	-rw-	34092	2013/12/29 04:02:48	config.cfg
5		d---	0	2013/12/29 04:03:23	system

29869 KB total (6203 KB free)

(*) -with boot up info

(b) -with backup info

4. ファイルが正常に設定されているのを確認し、スイッチをリブートします。

DGS-3120-24TC: reboot

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y

Please wait, the switch is rebooting...

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。

再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

4. 再起動完了後に「Press any key to login...」と表示されるので、再度ログインします。

4.ファームウェアバージョンを確認します。

DGS-3120-24SC:admin#show switch

Command: show switch

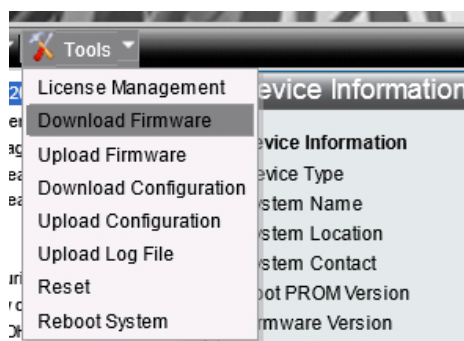
Device Type	: DGS-3120-24SC Gigabit Ethernet Switch
Unit ID	: 1
MAC Address	: 78-54-2E-44-38-60
IP Address	: 10.90.90.90 (Manual)
VLAN Name	: default
Subnet Mask	: 255.0.0.0
Default Gateway	: 0.0.0.0
Boot PROM Version	: Build 3.00.501
Firmware Version	: Build 3.00.B548
Hardware Version	: B1
Firmware Type	: SI
Serial Number	: R31H3D4000002
System Name	:
System Location	:
System Uptime	: 0 days, 0 hours, 1 minutes, 33 seconds
System Contact	:
Spanning Tree	: Disabled
GVRP	: Disabled
IGMP Snooping	: Disabled
MLD Snooping	: Disabled
VLAN Trunk	: Disabled
Telnet	: Enabled (TCP 23)

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。
(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。

※管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていません。
「空白」でログインを行ってください。

5. スwitchのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware** の順にクリックします。



6. ファームウェアダウンロードの設定を行います。

<TFTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From TFTP」にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

TFTP Server IP : IPv4 または IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

※ 「Boot Up」にチェックをいれると、ダウンロードしたファームウェアがブートアップファイルに指定されます。

<HTTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From HTTP」 にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

Source File : 「参照」をクリックし、ダウンロードするファームウェアを選択します。

※ 「Boot Up」 にチェックをいれると、ダウンロードしたファームウェアがブートアップファイルに指定されます。

7. 「Download」 をクリックします。

8. ステータス表示に「Done」と表示されるまでお待ちください。

9. ダウンロードしたファームウェアを、次回起動時のブートアップファイルに指定します。

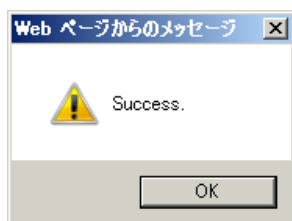
※手順 6 で「Boot Up」 にチェックをいれた場合は作業不要です。

- ① 「Network Application」 > 「Flash File System Settings」 の順でメニューをクリックします。
- ② 「Root」 欄の 「C:」 をクリックします。
または「Current Path:」 に 「C:/」 と入力→ 「Go」 をクリックします。

- ③ ブートアップファイルに指定するファイルの「Boot Up」 をクリックします。

※Info 欄の * は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

- ④ ブートファイルの指定に成功すると「Success」と表示されるので、画面の「OK」をクリックします。



10. スイッチのリブートを行います。

- ① 「Tools」 > 「Reboot System」の順でメニューをクリックします。
- ② 「Do you want to save the settings ?」の「Yes」にチェックをいれ、「Reboot」をクリックします。

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

11. リブートの進行状況が表示されるので、そのままお待ちください。

12. 再起動完了後にログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップデートされたことを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R3.00.B548	1. タスクトレース機能を追加致しました。

MIB および D-View モジュールの変更点：

特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R3.00.B548	<ol style="list-style-type: none"> 1. 稀に再起動することがある問題を修正致しました。 2. Accounting 設定の"method_list_name"で長い文字列を登録すると再起動する問題を修正致しました。 3. スタック構成のマスタ側で予期せぬ再起動が発生すると、マスタ起動後に通信が不可となることがある問題を修正致しました。 4. SMTP 設定後、"show config modified"や"show config effective"にて設定を確認できない問題を修正致しました。 5. リンクアグリゲーション使用時に実際に接続しているポートと FDB 情報が不一致となることがある問題を修正致しました。 6. スタック構成時に機器をメンバへ挿入した際にポートリストを更新しないことがある問題を修正致しました。 7. Web GUI で、シリアルポートの自動ログアウト設定が正しく反映されないことがある問題を修正致しました。 8. SD カードへの自動バックアップが時間経過後に失敗することがある問題を修正致しました。 9. Web GUI 経由で、MST ID に VID を追加できない問題を修正致しました。 10. ifType 値が誤って表示される問題を修正致しました。 11. 稀にスイッチの内部処理において割り込み処理を表すビットがクリアされないことがある問題を修正致しました。 12. Voice VLAN を有効にしているにも関わらず、オリジナルの VLAN として DHCP フレームを受信してしまう問題を修正致しました。 13. トラフィックセグメンテーション機能を有効にしているにも関わらず、IGMP Join フレームが転送される問題を修正致しました。 14. ログエントリに正しくないタイムスタンプが設定される場合がある問題を修正致しました。 15. スタック構成時にコンフィグをアップロードすると、Unit 間で設定に差異が発生することがある問題を修正致しました。 16. H3C 社製スイッチと接続した SFP ポートがリンクアップしないことがある問題を修正致しました。 17. WebGUI からコンフィグをアップロードした際にコンフィグファイルが壊れることがある問題を修正致しました。 18. 一部のブラウザを使って ACL を生成しようとする WebUI がフリーズしてしまう問題を修正致しました。

既知の問題：

特になし

Copyright 2006-2014 D-link Japan K.K.